

信濃川下流 河川防災ステーション

水害から私たちの暮らしを守る 3つの拠点

信濃川下流には、水防活動や災害復旧活動を円滑に実施するための拠点として3つの河川防災ステーションを整備しています。各ステーションには、水防センターやヘリポートの設置、災害対策車両の常備、防災資機材の備蓄等があり、災害に備えています。

令和5年6月開所予定

天野河川防災ステーション

信濃川右岸／新潟市江南区天野地区

赤渋河川防災ステーション

信濃川左岸／新潟市南区赤渋地区

三条防災ステーション

信濃川左岸／三条市上須頃地区

信濃川水系信濃川(下流)・関屋分水路
洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

凡 例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
0.5m 未満の区域	浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川
0.5 ~ 3.0m 未満の区域	
3.0 ~ 5.0m 未満の区域	
5.0 ~ 10.0m 未満の区域	

<解説>

- この図は、信濃川水系信濃川(下流)・関屋分水路の洪水予報区間を対象に、作成時点の堤防等の整備状況において起こりうる最大規模の激しい雨に伴う洪水が発生した場合に、堤防の決壊等により浸水が想定される範囲と水深をシミュレーションにより予測したものを示しています。
- シミュレーションでは、信濃川に流れ込む刈谷田川や五十嵐川などの支川の決壊による氾濫や、想定を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水(川に排水できずにあふれた水)による氾濫等を考慮していませんので、この図で着色されていない範囲でも浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

信濃川下流
河川事務所の
情報発信



赤渋河川防災ステーション（平成14年5月開所）

信濃川左岸／新潟市南区赤渋地先



新潟市南区をはじめとする信濃川下流の左岸地域は、信濃川と中ノ口川に囲まれており、海拔0m以下の地域が広がっています。ひとたび災害が発生すると、長期間に渡り浸水が継続することが想定されます。また、周辺には重要水防箇所が数多く存在していることから、大量の水防資材の備蓄と防災の拠点基地として整備しました。

平常時には水防センターを交流の場として活用することができます。

三条防災ステーション（平成26年5月開所）

信濃川左岸／三条市上須頃地先



信濃川下流の上流区間は、平成16年7月および平成23年7月の新潟・福島豪雨で甚大な被害が発生した五十嵐川などの支川が合流しています。洪水時には水位が高い状態が長時間続くことが想定されるため、水防団員の休息や現地における指揮命令の実施拠点が必要であり、資材供給拠点や水防活動拠点として整備しました。

平常時には水防センターを水防に関する学習の場として開放し、防災教育に活用されています。

天野河川防災ステーション（令和5年6月開所予定）

信濃川右岸／新潟市江南区天野地先



この地域は阿賀野川と信濃川下流に囲まれた低平地「亀田郷」にあり、旧河道や曾川切れの地点にも隣接した治水上重要な箇所に位置します。また、この下流域には人口・資産が集中する政令指定都市の新潟市街地が存在することから、信濃川右岸側における被災時の迅速な復旧活動の実施を目的に、資材供給拠点や水防活動拠点として整備しています。

平常時には水防センター等を地域の防災学習や交流の場として活用することが期待されます。

※ 当施設の開発行為に当たり、雨水の流出量を調節し適切に排出するためのもの。

イメージパース

河川防災ステーションの概要（施設の内容、機能等）

種別		内容・機能等	河川防災ステーション			
			赤浜	三条	天野	
① 水防センター		会議室、司令塔、休憩室、水防資材倉庫などが整備されています。災害時に水防団が会議、情報収集及び発信を行い、災害を警戒、防御することで被害を軽減するために必要な施設です。	○	○	○	
② 災害対策車輛庫		災害に備え、排水ポンプ車と照明車を配備しています。	③ 排水ポンプ車	2台	2台	2台
			④ 照明車	2台	2台	2台
⑤ ヘリポート		災害対応や支援物資の運搬等で活動するヘリコプター等の離発着場所として使用します。	○	○	○	
⑥ 防災船着場		地震等の災害発生時、陸路にかわり水路により緊急物資を運搬し、緊急物資の輸送基地として利用します。	○	○	—	
備蓄資材	⑦ 土砂	流水による浸食から河岸を守ったり、堤防決壊部に応急的に積むための大型土のう袋に使用します。	○	○	○	
	⑧ 碎石	水たまりやぬかるみになっている場所で復旧活動等を行う際、車輛等の走行性を確保するために敷ならして使用します。	○	○	○	
	⑨ 割栗石	崩れた堤防の緊急復旧に使用します。	—	○	○	
	⑩ 袋詰玉石（玉石）	20cm以上の玉石が入った網製の袋です。河岸や河床を流水による浸食から守るために使用します。	○	○	—	
	⑪ 根固めブロック	流水による浸食から河床や河岸を守るために設置するコンクリートブロックです。	○	○	○	

②災害対策車両庫



③排水ポンプ車



④照明車



⑤ヘリポート



⑥防災船着場



⑦土砂



⑧碎石



⑩袋詰玉石



⑪根固めブロック



防災だけじゃない 河川防災ステーションの 可能性

防災学習

観光促進

市民の
交流拠点

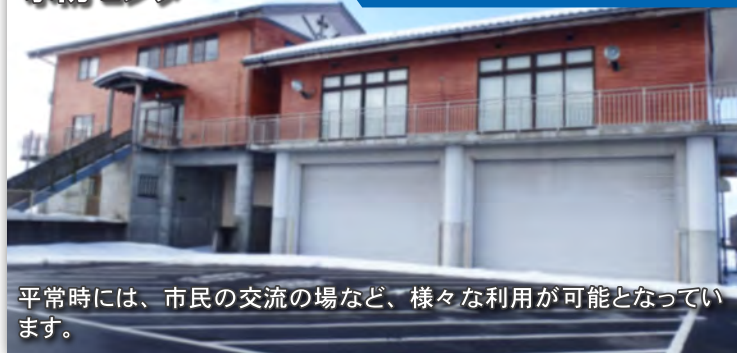
市民の交流場等、
様々な形で活用することで、
防災ステーションの認知度も向上し、
防災に対する意識が
向上しています。

自然
レクリエーション

活用

水防センター

赤渋河川防災ステーション



平常時には、市民の交流の場など、様々な利用が可能となっています。

水防学習館

三条防災ステーション



水害の記憶資料、気づきマップ、逃げどきマップの展示など、防災学習の場として活用されています。

水防訓練の様子

赤渋河川防災ステーション



信濃川下流域の水防団体と公開訓練を実施し、洪水に備えています。土のう積み工法実演など防災意識の向上に寄与しています。

交流広場等の活用 (ミズベリング※)

三条防災ステーション



※
新しい水辺活用に向けた官民一体プロジェクト。都市・地域再生等利用区域の指定で、カフェ・売店などの営業やイベント開催が可能に。

赤渋河川防災ステーション

(新潟市南区赤渋1506)



平常時利用に関する予約・問い合わせ先
新潟市南区役所地域総務課
安心安全グループ TEL 025-372-6431

三条防災ステーション

(三条市上須頃167-1)



平常時利用に関する予約・問い合わせ先
三条市水防学習館 TEL 0256-35-6520

天野河川防災ステーション

(新潟市江南区天野地先)



平常時利用に関する予約・問い合わせ先
新潟市江南区役所地域総務課
地域・防災グループ TEL 025-382-4526



国土交通省北陸地方整備局
信濃川下流河川事務所
〒951-8153 新潟市中央区文京町14-13
TEL 025-266-7131 (代表)



新潟市
危機管理防災局 危機対策課
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1
TEL 025-226-1146



三条市
建設部建設課 建設管理係
〒955-8686 三条市旭町2-3-1
TEL 0256-34-5511 (代表)